

平成27年度 福島大学大学院人間発達文化研究科入試問題

専攻(領域)名	教職教育(カリキュラム開発)	科目名	英語科教育学	受験番号	
---------	----------------	-----	--------	------	--

- 【1】 中央教育審議会は、平成25年4月25日に「第2期教育振興基本計画について(答申)」を取りまとめた。この答申では、「グローバル化や少子化・高齢化など社会の急激な変化」や「東日本大震災からの教訓」などから、今後5年間に実施すべき教育上の方策にふれている。その中で、基本施策1として「確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実」をあげ、【基本的な考え方】を以下としている。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

中央教育審議会『第2期教育振興基本計画について(答申)』平成25年4月25日より

問 このような考え方が求められている背景について、具体的な例にふれながら論じなさい。

平成27年度 福島大学大学院人間発達文化研究科入試問題

専攻(領域)名	教職教育(カリキュラム開発)	科目名	英語科教育学
---------	----------------	-----	--------

受験番号	
------	--

【2】次の英文を読み、設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

(出典：Trevor A. Harley, *The Psychology of Language* 4th ed., 2014)

- 問1 沈黙期が大事とされるのはなぜか。その理由を本文に即して日本語で説明しなさい。
- 問2 イメージョン教育を行う際の留意点はなにか。本文に即して日本語で説明しなさい。
- 問3 第二言語習得では複数の指導法を組み合わせることが推奨されているが、その根拠はなにか。本文に即して日本語で説明しなさい。

平成27年度 福島大学大学院人間発達文化研究科入試問題

専攻(領域)名	教職教育(カリキュラム開発)	科目名	英語科教育学	受験番号	
---------	----------------	-----	--------	------	--

【3】 次の専門用語の中から5つ用語を選んで、解答用紙に記入し、その意味を日本語または英語で説明しなさい。

- Affective Filter
- Authenticity
- Error Analysis
- Formative Evaluation
- Grammatical Collocation
- GTM
- Output Hypothesis
- Procedural Knowledge
- Semantic Mapping
- TBLT